

## 第6回「プルトニウム混合燃料に関する懇談会」議事録要旨

1. 開催日時：平成18年3月24日(金) 9:30～16:00

2. 開催場所：島根県民会館

### 3. 議事

#### (1) 中国電力(株)からの説明

- 島根2号機第13回定期検査の状況(定期検査中に発生した不具合)について
- ・ 運転上の制限の逸脱について
  - ・ 炉心増倍率測定試験時の不具合について
  - ・ 高圧炉心スプレイ系のノズル部の不具合について

島根2号機におけるウラン・プルトニウム混合酸化物燃料の使用に関する質問及び要検討項目に対する回答

#### ブルサーマルの必要性

- ・ バランスのとれた電源構成(ベストミックス)が必要
- ・ 供給安定性、経済性、環境保全に優れた原子力の開発が最重要経営課題
- ・ 公益的課題達成のためにも原子燃料サイクルの早期確立が必要
- ・ 核燃料サイクルに伴って獲得できるエネルギーは、再処理・MOX燃料加工等で使用するエネルギーに比べてはるかに多い
- ・ 高レベル放射性廃棄物の量の低減となる
- ・ プルトニウム利用計画では、回収プルトニウム量より利用プルトニウム量が上回り確実に利用していくことができる
- ・ ブルサーマルによる電気料金への影響について、MOX燃料の使用が発電コストに与える影響は小さく経営努力で吸収可能

#### ブルサーマルの安全性

- ・ 運転・保守員の教育・訓練については、日常業務を主体とし社内外の研修を活用して資質向上に努めている
- ・ MOX燃料を使った安全性(制御棒の効き、発熱分布のむら等)について
- ・ MOX燃料の健全性(燃料ペレット融点、燃料棒の内圧等)について
- ・ 周辺環境への影響(平常時、事故時)について
- ・ MOX燃料の取り扱いについて
- ・ 使用済MOX燃料の処理方策について

#### (2) 論点(要検討項目)についての議論

- ・ 必要性については、エネルギー資源の有効利用の点で、MOX燃料がどういう位置づけになるのか、国策としての対応、などの議論が行われた。
- ・ 経済性については、MOX燃料のバックエンドコストへの影響、製造工場などの電気料金への影響について、質疑が行われた。
- ・ 安全性については、不具合事象と安全性の関わり、第三者としての国からの説明の必要性、確率論的な安全評価の意義、安全性の担保などの議論が行われた。

#### (3) 次回以降の懇談会について

- ・ 論点の論議、意見集約に向けて、次のとおり日程が決定された。

第7回懇談会 日時：平成18年4月11日(火) 10:00～16:00

第8回懇談会 日時：平成18年4月18日(火) 10:00～16:00

第9回懇談会 日時：平成18年4月26日(水) 10:00～16:00